

<山行記録>

藤原岳 (1,120m)

日 時：2012. 11. 7 (水) 曇時々晴

岡本 (単独)

8:45 大貝戸登山口→9:20 五合目→9:47 八合目→10:20 藤原山荘→10:32 藤原岳 (展望台 1,120m) →小屋付近周遊→10:55 藤原小屋発→11:18 八合目→11:36 五合目 (昼食 48 分発) →12:13 登山口 (往) 5:30 自宅→8:20 駐車場、(復) 12:45 駐車場発→15:10 自宅

鈴鹿山脈へ行くのは学生以来であり、40 数年振りのことになる。まずは最高峰の御池岳を目指す予定で出発したが、土砂崩れの為道路が閉鎖中で目的地へ行けず。仕方無く、近くの藤原岳に目的地を変更し、御池岳に近い聖宝寺道を目指す。地図上の登山口辺りに藤原岳登山駐車場の看板があり、そこに駐車。が、登山口が中々見つからない。地元の人に聞くと、そのルートは土砂崩れの為、現在入山禁止とのこと。料金も支払済みの為、やむなく15分程歩き、漸く大貝戸登山口を見つける。と、ここには舗装した立派な無料駐車場がある。元々余裕のある行程で、ゆっくり山行を楽しむ予定が、昨日親戚に不幸事があり、遅くとも夕方4時までには帰り、通夜式に出ない羽目になるなど、どうも最初から憑きの無い山行だ。今日は、下見がてらのいい加減な山歩きにし、次の機会にゆっくり鈴鹿の山を登ろうと決めた。

神社の鳥居が登山口になっている。鳥居をくぐり、真っ直ぐ行くと自然に登山道になる。表登山道だけあり、道は良く整備されており、迷う心配も無さそうだ。杉の植林帯を少し行くと雑木林になる。ここから、つづら折りの道が



延々と続く。この辺りはまだ紅葉していない。暫く行くと二合目の標識がある。この標識は、概ね負担感通りにあるようだ。樹林帯が続くが、五合目辺りで少し眺望のあるところがある。この辺りから徐々に葉が色づき出す。しかし、ここから八合目辺りまでは殆どが杉の植林帯の中で、紅葉も、景色も余り楽しめない。所々道が少し流されている箇所もあるが、単調なつづら折りが続く一本調子の道だ。

八合目が見えると、急に木々が色づき出す。この辺りから、殆どが雑木林になり、紅葉も終わりに近い感じだ。所々遠望も楽しめ、何となく山道らしくなる。今日は、季節風の吹き出しもあり、この辺りから、



風も強くなり、寒く感じられるようになる。

ここから石灰岩混じりの粘土質の土の道になり、滑り易く、少し辛い場所も出てくる。九合目までが意外に長く感じられる。少し高度が上がったのと、疲労も有るのだろうか、少しきつい感じだ。しかし、展望と紅葉が、疲れを癒やしてくれる。





漸く九合目だ。紅葉の綺麗な場所もあるのだが、冬空の為今ひとつ綺麗に見えない。それより、九合目まで来てもピークらしい山はまだ随分先に見える。どうやら、藤原山荘を十合目と見立てた合数のように思える。少しなだらかになった道を進んでいくと藤原山荘



が見えてくる。藤原山荘前に着くと、展望台20分、天狗



岩30分と書いてある標識がある。まずは、藤原岳らしき展望台へのコースを取る。少し下り、そこからクマザサの道を10分程歩くと展望台の標識のあるピークに出る。が、この展望台が藤原岳となっていたような気がするのだが、何故か藤原岳とは書いていない。谷を挟んだ向こうに天狗岩らしきものが見える。どうも向こうの方が高いようだ。地図を確認すると、確かに50mばかり高い。標高差で負けるので、全体が藤原岳と言うことなのか、よく分



からないが、一応頂上へ来たことにする。

小屋まで戻り、天狗岩へ行くか迷う。帰りの時間に余裕を持たそうとすれば、少し危ない。結局、途中まで行った

が、天候も余り良く無く、景色もそれ程のことは思えず、途中で引き返す。今日は夕方の通夜式の方を優先する。



下り始めると、天候が回復し出す。いつものパターンというもの、少し腹立たしい。まあ、今日は憑きの無い山行日とあきらめて歩く。折角買ってきたコンビニおにぎりを駐車場で食べるのも少し腹立たしいので、五合目で昼食にする。下見と言うことにすれば、これで山の感じや、高速道路からからの道路状況も分ったことだし、一応目的は果た



せたことになる。そう思い、おむすびを食べ終わるとさっさと下山し、大失敗の有料駐車場までてくてく歩く。

以上